

宍粟市総合計画

人と自然が輝き
みんなで創る
夢のまち
の実現に向けて



宍粟市

“人と自然が輝き

みんなで創る

夢のまち”

の実現に向けて



あいさつ



宍粟市は広範な市域に様々な地域資源を有する豊かなまちです。

この中でも特に、その約9割を占める森林は本市の誇る資源であるといえます。

しかしながら、この豊かな森林は一日にして成ったものではありません。長い年月を経て、私たちの先人達が豊かな土壌を造り、苗木を植栽し、美しい光・空気・水と共に真心込めて守り育ててきた一本一本の大木が集まり、現在の豊かな森林が形成されているのです。

合併に先立ち山崎町・一宮町・波賀町・千種町合併協議会においては「新市建設計画（新まちづくり計画）」が策定され、その想いを愛らしい“四つ葉のクローバ”という苗木に託して新市に引き継がれました。

私たちは、この苗木を市民・地域・行政の協働を土台に、お互いの情報共有を図りながら、計画的・効率的かつ柔軟性をもって実りのある大木に、そして豊かな森に育てていかなければなりません。

この度の「宍粟市総合計画」の策定にあたっては、「新市建設計画」で示されたまちづくりの方向性・施策実施の考え方をもとに、市民と行政の協働の第一歩として「自らのまちは 自らの手で」を基本に、多くの市民の皆様にご参画いただきました。

そして、宍粟市のスタートに際し、「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」と思うまちづくりのため、平成27年度(2015年)を目標年次に、宍粟市の将来像を“人と自然が輝き みんなで創る 夢のまち”と定め、参画と協働のまちづくりの基本方向と行政運営の指針を示したものであります。

今後は、「宍粟市総合計画」の理念のもとに、『森と共に生きるまち宍粟』のまちづくりを市民と行政が一体となって推し進めていくことが私たちの使命であると考えております。

最後になりましたが、これからのまちづくりに多くのご提言・ご意見をいただきました市民の皆様、住民部会の皆様、総合計画審議会委員の皆様、さらに、計画策定に携わっていただいた多くの皆様から感謝申し上げます。

平成18年6月

宍粟市長 白谷敏明